



2021年度 決算補足説明資料

2022年4月28日

南海電気鉄道株式会社（東証プライム市場 9044 <http://www.nankai.co.jp/>）

目次

I. 2021年度 決算概要	P. 2
1. 業績ハイライト	P. 3
2. セグメント別の状況	P. 5
3. 営業外・特別損益の状況	P. 20
4. 資産、負債及び純資産の状況	P. 21
5. キャッシュ・フローの状況	P. 22
6. 投資額・EBITDA(セグメント別)	P. 23
II. 2022年度 業績予想	P. 24
1. 業績予想策定の前提条件	P. 25
2. 業績ハイライト	P. 26
3. セグメント別の状況	P. 27

I. 2021年度 決算概要



1. 業績ハイライト①

(単位:百万円)

	2021年度 実績 (A)	2020年度 実績 (B)	対2020年度実績		2021年度 予想 (2021年10月公表) (C)	対2021年度予想		(参考) 2019年度 実績
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率	
営業収益 (収益認識基準適用前)	201,793 (188,747)	190,813	10,979 (△ 2,065)	5.8% (△ 1.1%)	206,400	△ 4,606	△ 2.2%	228,015
営業利益 (収益認識基準適用前)	12,190 (12,169)	5,552	6,637 (6,616)	119.5% (119.2%)	10,400	1,790	17.2%	35,223
営業外収益	2,004	1,695	309	18.3%				1,462
営業外費用	4,263	5,393	△ 1,130	△ 21.0%				5,009
経常利益	9,931	1,854	8,077	435.7%	7,800	2,131	27.3%	31,677
特別利益	25,282	2,349	22,933	976.3%				3,000
特別損失	27,028	5,400	21,628	400.5%				4,150
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,021	△ 1,861	5,883	—	4,400	△ 378	△ 8.6%	20,811

<主な増減理由等:前期比>

建設業において完成工事高が減少した一方、運輸業における輸送人員の増加や収益認識基準の適用により増収、
運輸業における損失幅の縮小等により増益

<主な増減理由等:2021年10月公表予想比>

建設業における完成工事高の減少により減収の一方、各セグメントにおける経費の削減等により営業増益、
繰延税金資産を一部取り崩した事等により親会社株主に帰属する当期純利益は減益

1. 業績ハイライト②

(単位:百万円)

	2021年度実績 (A)	2020年度実績 (B)	対2020年度実績		2021年度予想 (2021年10月公表) (C)	対2021年度予想		(参考) 2019年度実績
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率	
投資額	21,408	27,966	△ 6,558	△ 23.4%	31,100	△ 9,691	△ 31.2%	47,917
減価償却費	28,591	29,410	△ 819	△ 2.8%	28,800	△ 208	△ 0.7%	28,786
EBITDA※	41,568	35,695	5,872	16.5%	40,000	1,568	3.9%	64,976
有利子負債残高	482,487	506,475	△ 23,988	△ 4.7%	482,700	△ 212	△ 0.0%	467,953
純有利子負債残高	446,017	464,619	△ 18,602	△ 4.0%	455,500	△ 9,482	△ 2.1%	450,079
有利子負債残高 ／EBITDA※倍率	11.6倍	14.2倍	△ 2.6pt	—	12.1倍	△ 0.5pt	—	7.2倍
純有利子負債残高 ／EBITDA※倍率	10.7倍	13.0倍	△ 2.3pt	—	11.4倍	△ 0.7pt	—	6.9倍

<主な増減理由等:前期比>

投資額
有利子負債残高

前期に難波フロントビルを取得したこと等による減少

増益や投資抑制の効果に加えて、前期に積み増した現預金の段階的な取崩により削減

<主な増減理由等:2021年10月公表予想比>

投資額

工事費の圧縮及び期ズレ等による減少

※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

2. セグメントの構成状況（2022年3月末現在）

【連結子会社54社・非連結子会社16社・持分法非適用関連会社6社】

増減(対 2021年3月末) 連結子会社の減少 1社(会社清算) : 南海アミューズメント株式会社

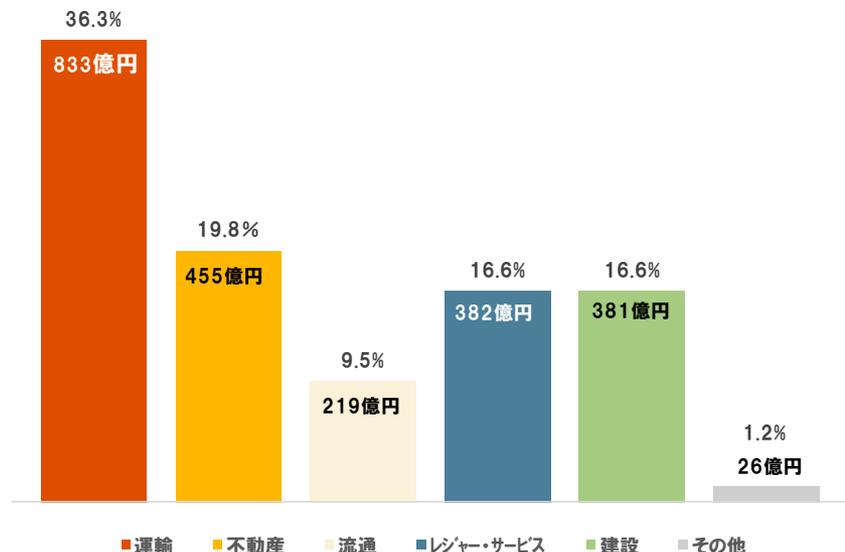
非連結子会社の増加 3社(新規設立) : 株式会社Every Buddy、株式会社LAWN

株式会社EMOSHARE

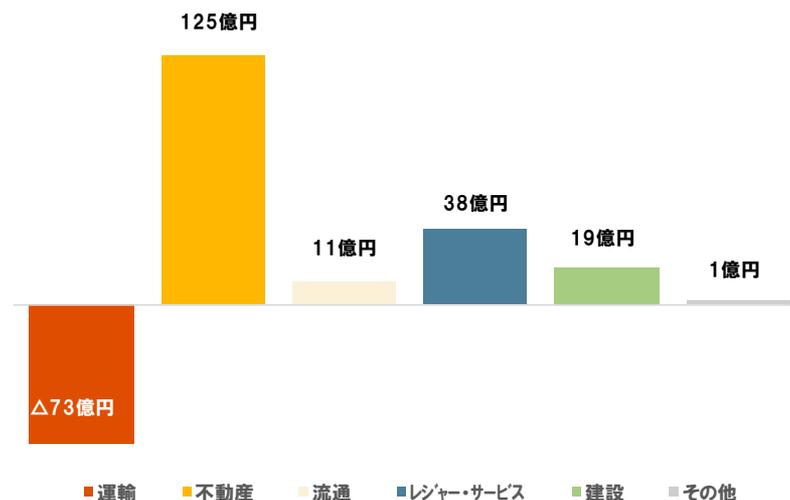


※当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

セグメント別営業収益



セグメント別営業利益

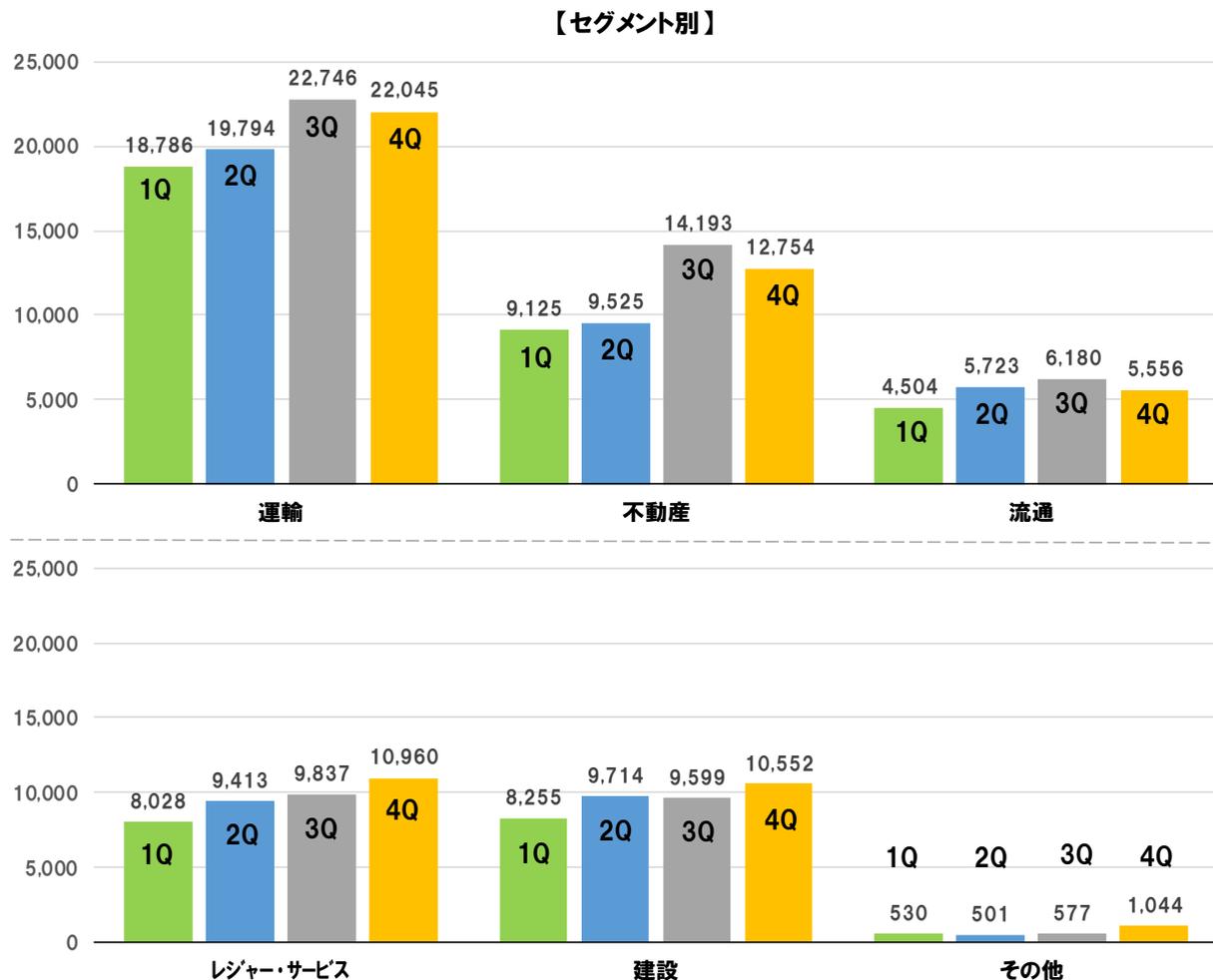


※ 構成比: セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

2. セグメント別営業収益・営業利益

① 四半期会計期間(3ヶ月)営業収益推移

(単位:百万円)

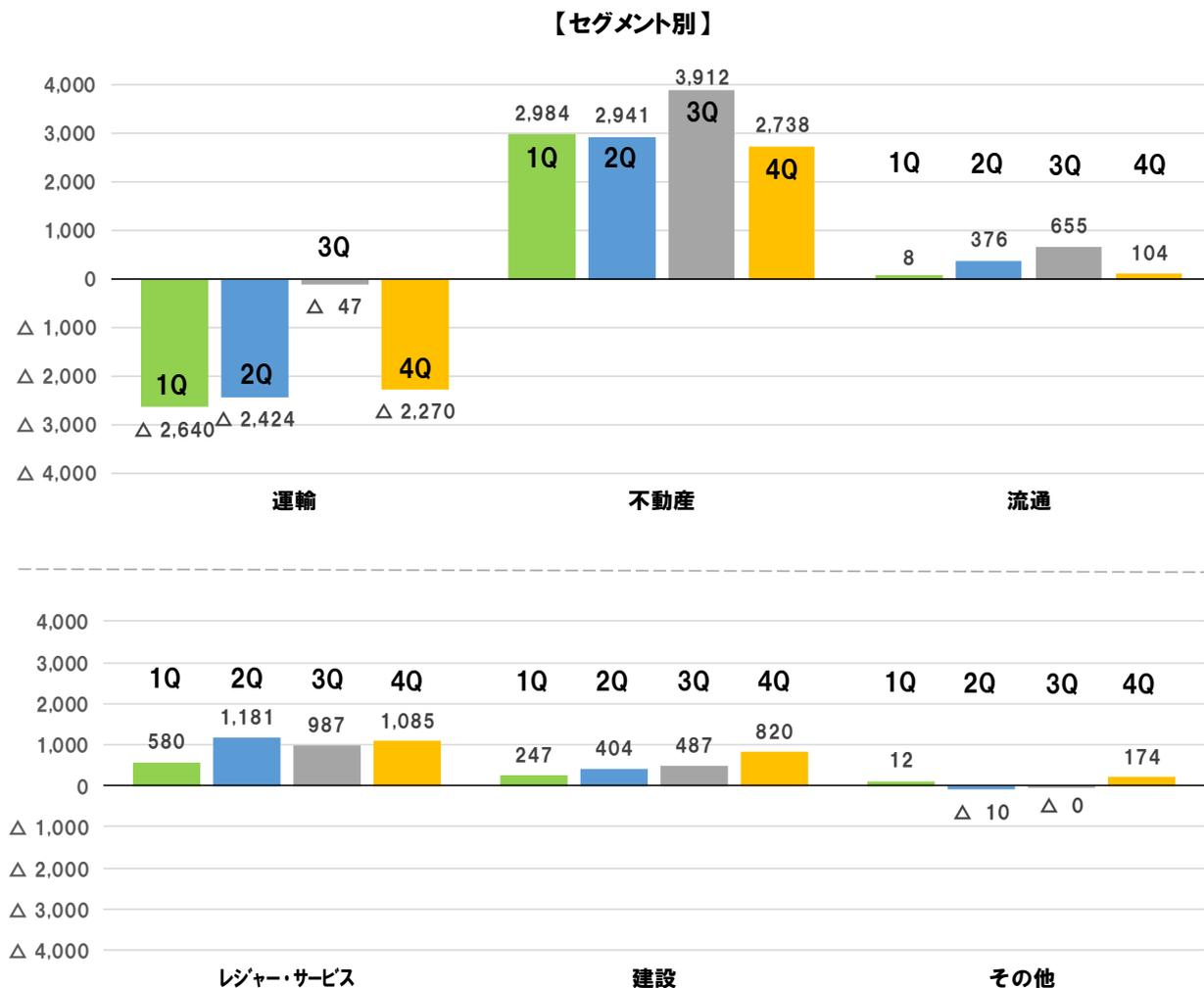
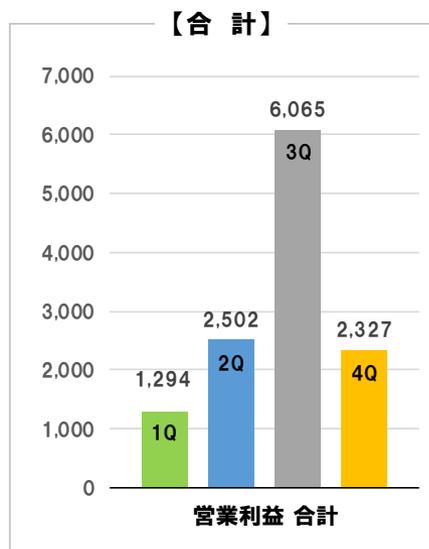


2. セグメント別営業収益・営業利益

②四半期会計期間(3ヶ月)営業利益推移

(単位:百万円)

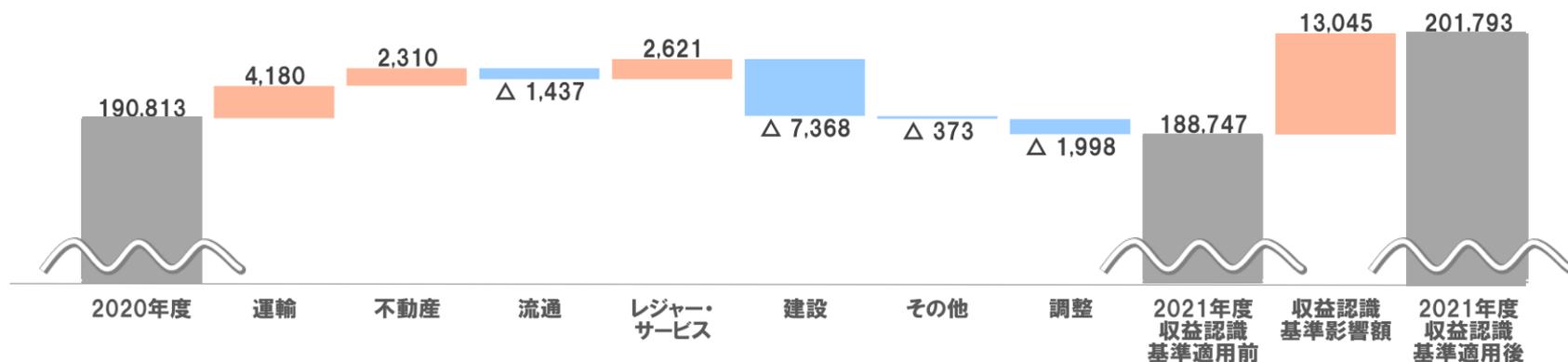
- 2021/1Q
(2021年4~6月)
- 2021/2Q
(2021年7~9月)
- 2021/3Q
(2021年10~12月)
- 2021/4Q
(2022年1~3月)



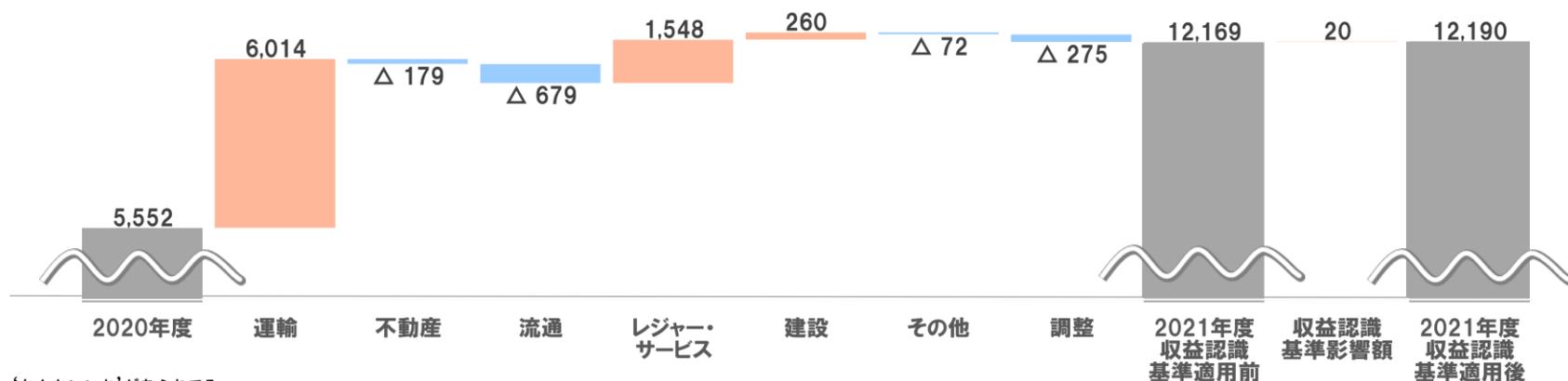
2. セグメント別営業収益・営業利益（対 2020年度比較）

① 営業収益の増減額（対 2020年度比較）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対 2020年度比較）



2. セグメント別営業収益・営業利益（対2020年度比較）

（単位：百万円）

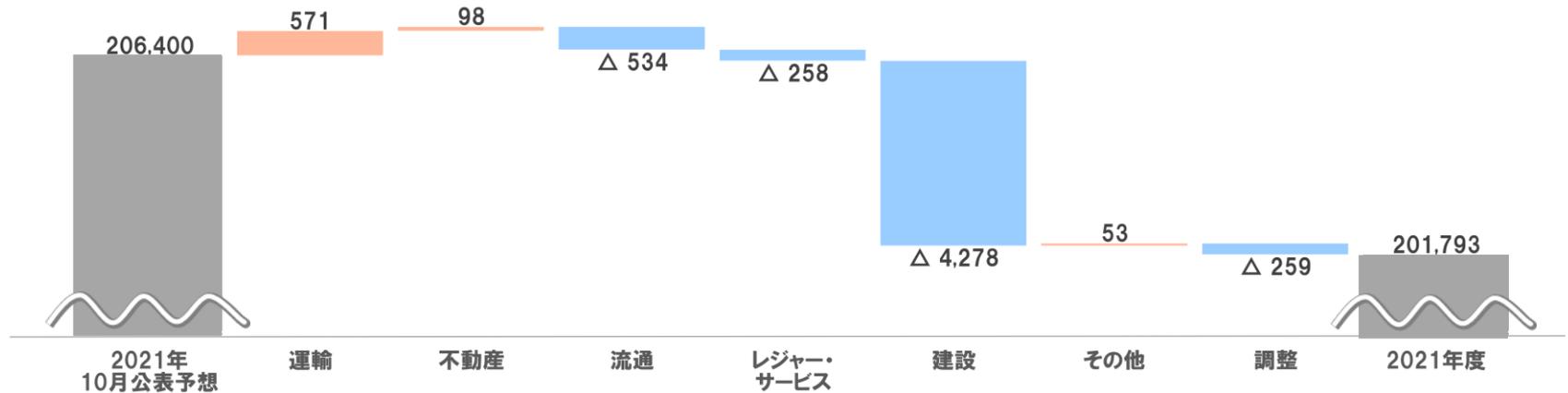
	営業収益					営業利益				
	2021年度 実績	2020年度 実績	対2020年度		(参考) 2019年度 実績	2021年度 実績	2020年度 実績	対2020年度		(参考) 2019年度 実績
			増減額	増減率				増減額	増減率	
運 輸 業	83,371 (70,746)	66,566	16,805 (4,180)	25.2% (6.3%)	100,980	△ 7,382 (△ 7,584)	△ 13,599	6,216 (6,014)	— (—)	12,953
不 動 産 業	45,598 (44,088)	41,777	3,821 (2,310)	9.1% (5.5%)	43,486	12,577 (12,699)	12,878	△ 301 (△ 179)	△ 2.3% (△ 1.4%)	13,832
流 通 業	21,965 (23,875)	25,312	△ 3,346 (△ 1,437)	△ 13.2% (△ 5.7%)	32,348	1,144 (1,204)	1,883	△ 738 (△ 679)	△ 39.2% (△ 36.1%)	3,835
レジャー・ サービス業	38,241 (37,377)	34,756	3,484 (2,621)	10.0% (7.5%)	42,981	3,834 (3,833)	2,285	1,548 (1,548)	67.7% (67.7%)	2,762
建 設 業	38,121	45,490	△ 7,368	△ 16.2%	41,111	1,959	1,699	260	15.3%	2,304
その他の事業	2,653	3,027	△ 373	△ 12.3%	3,503	176	248	△ 72	△ 29.0%	212
調 整 額	△ 28,159 (△ 28,115)	△ 26,116	— (—)	— (—)	△ 36,396	△ 120 (△ 120)	155	— (—)	— (—)	△ 677
合 計	201,793 (188,747)	190,813	10,979 (△ 2,065)	5.8% (△ 1.1%)	228,015	12,190 (12,169)	5,552	6,637 (6,616)	119.5% (119.2%)	35,223

※()は収益認識基準適用前の数値

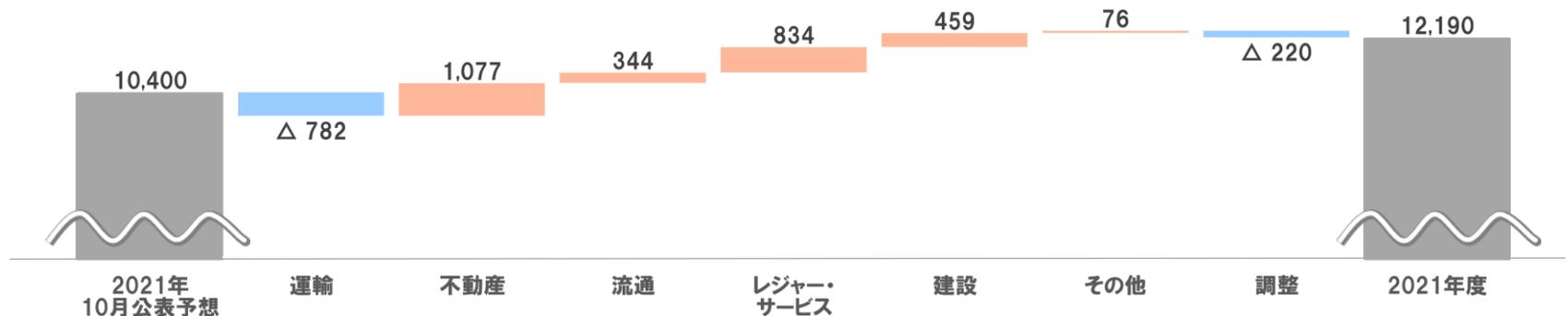
2. セグメント別営業収益・営業利益（対 2021年10月公表予想比較）

① 営業収益の増減額（対 2021年10月公表予想比較）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対 2021年10月公表予想比較）



2. セグメント別営業収益・営業利益（対 2021年10月公表予想比較）

（単位：百万円）

	営業収益				営業利益			
	2021年度 実績	2021年度 予想 (2021年10月公表)	増減額	増減率	2021年度 実績	2021年度 予想 (2021年10月公表)	増減額	増減率
運 輸 業	83,371	82,800	571	0.7%	△ 7,382	△ 6,600	△ 782	—
不 動 産 業	45,598	45,500	98	0.2%	12,577	11,500	1,077	9.4%
流 通 業	21,965	22,500	△ 534	△ 2.4%	1,144	800	344	43.1%
レジャー・ サービス業	38,241	38,500	△ 258	△ 0.7%	3,834	3,000	834	27.8%
建 設 業	38,121	42,400	△ 4,278	△ 10.1%	1,959	1,500	459	30.6%
その他の事業	2,653	2,600	53	2.1%	176	100	76	76.7%
調 整 額	△ 28,159	△ 27,900	—	—	△ 120	100	—	—
合 計	201,793	206,400	△ 4,606	△ 2.2%	12,190	10,400	1,790	17.2%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

(単位:百万円)

運輸業	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	増減率	2021年度 収益認識基準影響額
営業収益	83,371	66,566	16,805	25.2%	12,625
鉄道事業	48,078	45,665	2,412	5.3%	35
バス事業	17,513	16,189	1,324	8.2%	9
その他の運輸業	24,077	10,047	14,029	139.6%	12,580
調整額(セグメント内)	△ 6,297	△ 5,336	—	—	△ 0
営業利益	△ 7,382	△ 13,599	6,216	—	201
主な内訳					
鉄道事業	△ 5,545	△ 9,595	4,049	—	201
バス事業	△ 1,614	△ 3,356	1,742	—	—

(主な増減理由)

- ・依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、鉄道事業やバス事業において前期と比べ輸送人員が増加したことや収益認識基準の適用に伴い貨物運送業の収益を総額で認識したことにより増収、費用削減の効果もあり増益

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

全線			2021年度 実績	2020年度 実績	対2020年度実績		対2019年度実績	
					増減	増減率	増減	増減率
旅客収入	定期外		20,538	18,544	1,993	10.8%	△ 14,535	△ 41.4%
	定期		18,495	18,548	△ 52	△ 0.3%	△ 4,066	△ 18.0%
	合計		39,033	37,092	1,941	5.2%	△ 18,602	△ 32.3%
輸送人員	定期外		65,964	60,670	5,294	8.7%	△ 31,810	△ 32.5%
	定期		116,887	117,494	△ 607	△ 0.5%	△ 24,793	△ 17.5%
	合計		182,851	178,164	4,687	2.6%	△ 56,603	△ 23.6%

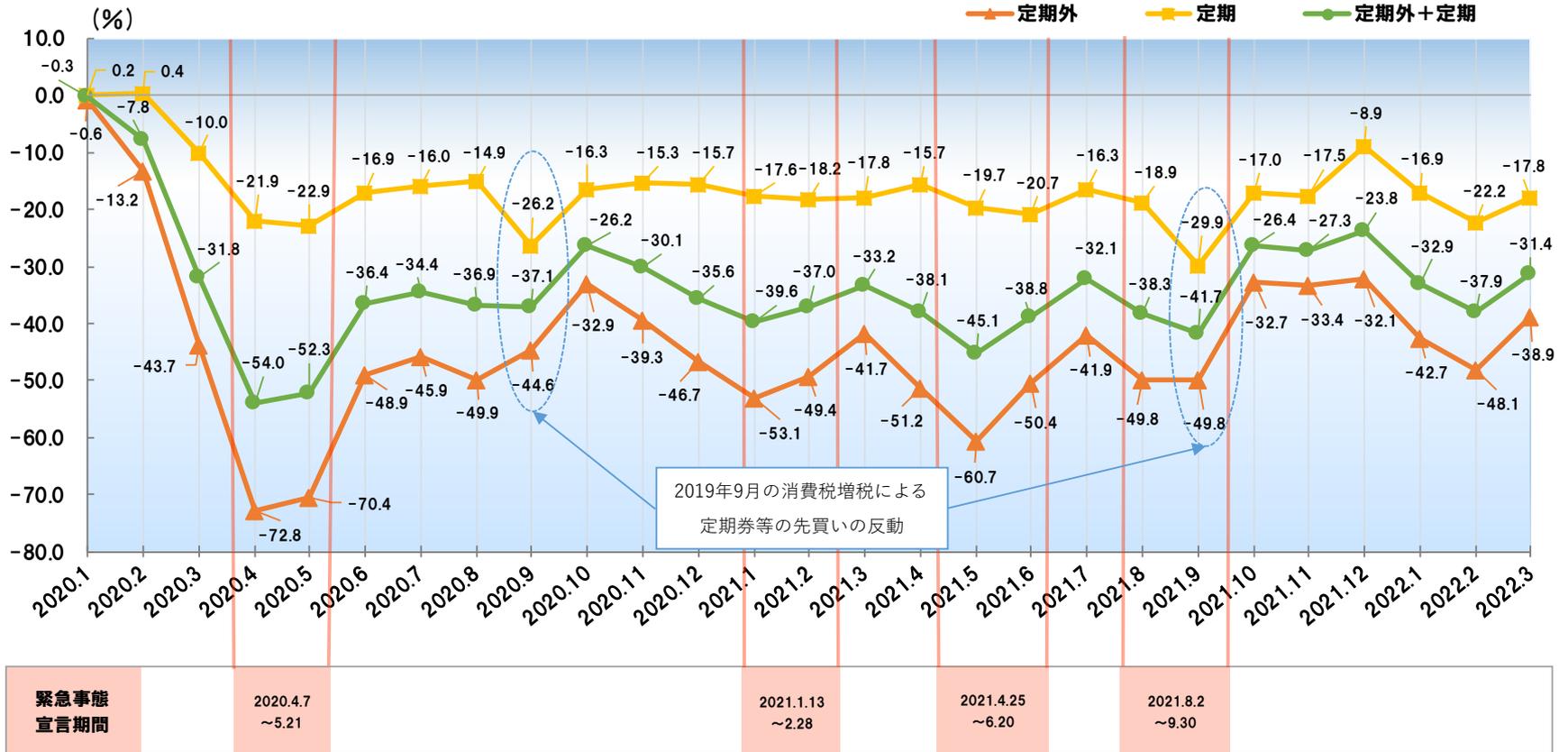
(単位:百万円・千人)

空港線			2021年度 実績	2020年度 実績	対2020年度実績		対2019年度実績	
					増減	増減率	増減	増減率
旅客収入	定期外		2,203	1,686	517	30.7%	△ 6,366	△ 74.3%
	定期		780	838	△ 57	△ 6.9%	△ 766	△ 49.5%
	合計		2,984	2,524	459	18.2%	△ 7,133	△ 70.5%
輸送人員	定期外		3,194	2,574	620	24.1%	△ 7,501	△ 70.1%
	定期		2,631	2,570	61	2.4%	△ 2,261	△ 46.2%
	合計		5,825	5,144	681	13.2%	△ 9,762	△ 62.6%

‘なんかいいね’があふれてる

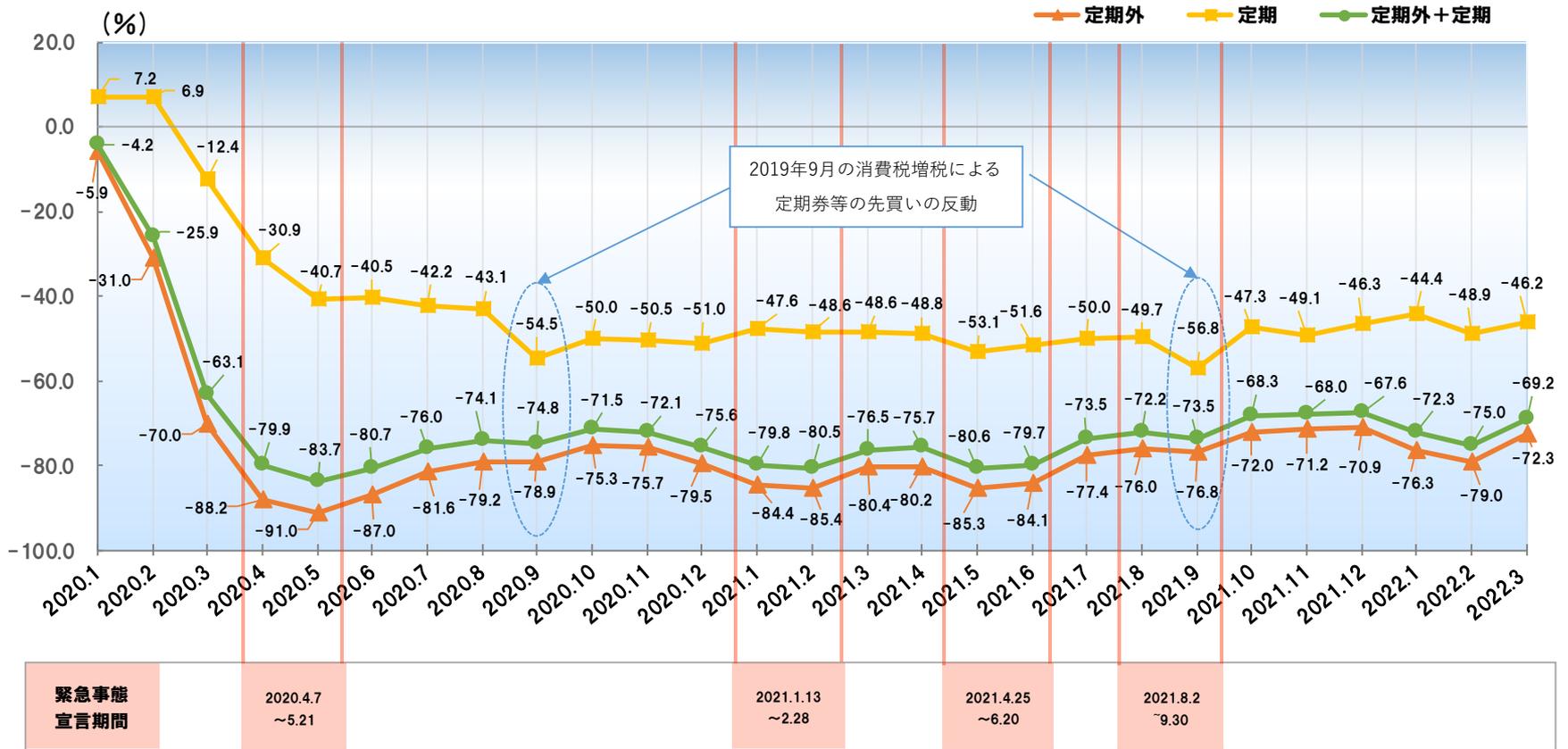
2. セグメント情報(運輸業)

【参考1】(個別-全線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



2. セグメント情報(運輸業)

【参考2】(個別-空港線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



2. セグメント情報(不動産業)

(単位:百万円)

不動産業	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	増減率	2021年度 収益認識基準影響額
営業収益	45,598	41,777	3,821	9.1%	1,510
不動産賃貸業	32,531	30,737	1,793	5.8%	1,510
不動産販売業	13,477	11,571	1,905	16.5%	—
調整額(セグメント内)	△ 409	△ 531	—	—	△ 0
営業利益	12,577	12,878	△ 301	△ 2.3%	△ 121
主な内訳					
不動産賃貸業	11,625	12,063	△ 438	△ 3.6%	△ 124
不動産販売業	1,115	989	126	12.7%	2

(主な増減理由)

- ・不動産賃貸業は、収益認識基準の適用に伴いテナントから収受する水道光熱費収入を総額で認識したことや、新規物件の寄与もあり増収となった一方、既存物件の減収等により減益
- ・不動産販売業は、事業用物件の売却が増加したことにより増収増益

2. セグメント情報(流通業)

(単位:百万円)

流通業	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	増減率	2021年度 収益認識基準影響額
営業収益	21,965	25,312	△ 3,346	△ 13.2%	△ 1,909
ショッピングセンターの経営	12,260	12,368	△ 108	△ 0.9%	706
駅ビジネス事業	10,705	13,648	△ 2,943	△ 21.6%	△ 2,469
その他の流通業	609	744	△ 134	△ 18.1%	—
調整額(セグメント内)	△ 1,608	△ 1,448	—	—	△ 147
営業利益	1,144	1,883	△ 738	△ 39.2%	△ 59
主な内訳					
ショッピングセンターの経営	581	1,523	△ 942	△ 61.9%	△ 59
駅ビジネス事業	618	391	226	57.9%	—

(主な増減理由)

・収益認識基準の適用に伴い消化仕入に係る収益を純額で認識したことや、コロナ禍の長期化による影響等もあり減収減益

2. セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位:百万円)

レジャー・サービス業	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	増減率	2021年度 収益認識基準影響額
営業収益	38,241	34,756	3,484	10.0%	863
ビル管理メンテナンス業	23,757	22,346	1,410	6.3%	△ 34
その他のレジャー・サービス業	16,356	14,365	1,991	13.9%	903
調整額(セグメント内)	△ 1,872	△ 1,955	—	—	△ 5
営業利益	3,834	2,285	1,548	67.7%	0
主な内訳					
ビル管理メンテナンス業	1,353	1,092	260	23.8%	—

(主な増減理由)

- ・ビル管理メンテナンス業は、設備工事収入の増加により増収増益
- ・その他のレジャー・サービス業は、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復や旅行業で収益認識基準の適用に伴い企画旅行収入を総額で認識したことにより増収増益

2. セグメント情報(建設業 / その他の事業)

(単位:百万円)

建設業	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	増減率	2021年度 収益認識基準影響額
営業収益	38,121	45,490	△ 7,368	△ 16.2%	—
建設業	38,156	45,510	△ 7,354	△ 16.2%	—
調整額(セグメント内)	△ 34	△ 19	—	—	—
営業利益	1,959	1,699	260	15.3%	—

(主な増減理由) 完成工事高の減少により減収、利益率の改善等により増益

(単位:百万円)

その他の事業	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	増減率	2021年度 収益認識基準影響額
営業収益	2,653	3,027	△ 373	△ 12.3%	—
その他の事業	2,663	3,041	△ 377	△ 12.4%	—
調整額(セグメント内)	△ 10	△ 13	—	—	—
営業利益	176	248	△ 72	△ 29.0%	—

(主な増減理由) システム収入の減少等により減収減益

3. 営業外・特別損益の状況

(単位:百万円)

	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	摘要
営業外収益	2,004	1,695	309	
受取利息	24	24	0	
受取配当金	786	732	54	
雑収入	1,193	938	254	
営業外費用	4,263	5,393	△ 1,130	
支払利息	3,817	4,149	△ 332	
雑支出	446	1,244	△ 798	
特別利益	25,282	2,349	22,933	
工事負担金等受入額	23,311	330	22,981	
原状回復負担金等収入	—	1,230	△ 1,230	
その他	1,970	789	1,181	当期:大規模施設等協力金他
特別損失	27,028	5,400	21,628	
工事負担金等圧縮額	23,268	326	22,942	
減損損失	943	2,120	△ 1,176	
新型コロナウイルス感染症による損失	649	458	190	
建替関連損失	509	1,867	△ 1,358	
その他	1,657	627	1,030	当期:固定資産除却損他

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

		2021年度末	2020年度末	増減額	主な増減理由
流動資産	85,147	101,068	△ 15,921	<ul style="list-style-type: none"> ●流動資産 <ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金の減少 △58億円 ・受取手形及び売掛金の減少 △29億円 ・商品及び製品の減少 △35億円 	
固定資産	835,829	861,161	△ 25,331	<ul style="list-style-type: none"> ●固定資産 <ul style="list-style-type: none"> ・高石市内連続立体交差化工事(上り線)の竣工に伴う固定資産の圧縮記帳等による減少 	
資産合計	920,976	962,229	△ 41,252		
負債合計	660,260	703,660	△ 43,399	<ul style="list-style-type: none"> ●負債 <ul style="list-style-type: none"> ・高石市内連続立体交差化工事(上り線)の竣工に伴う流動負債その他の減少 ・有利子負債残高の減少 	
純資産	260,716	258,569	2,147		
負債純資産合計	920,976	962,229	△ 41,252	<ul style="list-style-type: none"> ●純資産 <ul style="list-style-type: none"> ・親会社株主に帰属する当期純利益 +40億円 ・その他有価証券評価差額金 +10億円 ・剰余金の配当 △28億円 	

	2021年度末	2020年度末	増減額
有利子負債	4,824	5,064	△ 239
純有利子負債	4,460	4,646	△ 186

(単位:億円)

‘なんかいいね’があふれてる

5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	41,879	21,338	20,540	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動によるキャッシュ・フロー ・売上債権の増減 + 115億円 ・税金等調整前当期純利益 + 93億円 ・棚卸資産の増減 + 26億円 ・仕入債務の増減 △ 33億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 19,669	△ 33,273	13,603	<ul style="list-style-type: none"> ●投資活動によるキャッシュ・フロー ・固定資産の取得による支出 +135億円 ・工事負担金等受入による収入 △ 11億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 27,026	35,821	△ 62,847	<ul style="list-style-type: none"> ●財務活動によるキャッシュ・フロー ・有利子負債増減額 △622億円 ○当期 借入金 △239億円 ○前期 社債 +297億円 借入金 +135億円 コマーシャル・ペーパー △ 50億円
現金及び現金 同等物の期末残高	36,101	40,917	△ 4,816	

6. 投資額・EBITDA(セグメント別)

(単位:百万円)

	投資額			EBITDA ※1		
	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額	2021年度 実績	2020年度 実績	増減額
運 輸 業	11,811	10,454	1,357	8,482	2,775	5,706
不 動 産 業	6,553	14,680	△ 8,126	20,471	20,675	△ 204
流 通 業	1,430	1,625	△ 194	5,440	6,136	△ 695
レジャー・ サービス業	1,557	1,156	400	5,130	3,991	1,138
建 設 業	47	39	8	2,096	1,841	254
その他の事業	6	9	△ 2	189	262	△ 73
調 整 額	—	—	—	※2 △ 242	※2 12	△ 254
合 計	21,408	27,966	△ 6,558	41,568	35,695	5,872

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

II. 2022年度 業績予想

1. 業績予想策定の前提条件

●2022年度数値計画における収入は、下記のガイドラインに基づいて算定

※コロナ影響を控除した平年ベースからの減少率

1. 前提:

	2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	平均
インバウンド・海外旅行	△80%		△60%		△70%
国内中長距離旅行	△10%		△10%		△10%
近場レジャー	△15%		△15%		△15%
通勤(定期)利用者	△10%		△10%		△10%
通学(定期)利用者	△5%		△5%		△5%

2. 当社鉄道線:

	2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	平均
定期外(既設線)	△15%		△15%		△15%
定期外(空港線)	△70%		△50%		△60%
定期(既設線)	△10%		△10%		△10%
定期(空港線)	△30%		△20%		△25%

2. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2022年度 予想	2021年度 実績	増減額	主な増減要因
営業収益	227,100	201,793	25,306	●営業収益 移動需要が徐々に回復していくことで運輸業を中心に増収
営業利益	16,300	12,190	4,109	●営業利益 運輸業の収支改善により増益
経常利益	13,200	9,931	3,268	●親会社株主に帰属する当期純利益 経常増益に加え、前期の減損損失計上の反動により増益
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,800	4,021	3,778	●投資額 中期経営計画達成に向けた投資の増加
投資額	47,700	21,408	26,291	●純有利子負債残高 投資額の増加による増
減価償却費	28,400	28,591	△ 191	
E B I T D A ※	45,400	41,568	3,831	
有利子負債残高	482,600	482,487	112	
純有利子負債残高	458,900	446,017	12,882	
有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	10.6倍	11.6倍	△ 1.0pt	
純有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	10.1倍	10.7倍	△ 0.6pt	

※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

3. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2022年度 予想	2021年度 実績	増減額	主な増減要因
運 輸 業	営業収益	95,800	83,371	12,428	・鉄道事業+94億円 ・バス事業+21億円
	営業利益	△ 300	△ 7,382	7,082	・鉄道事業+66億円 動力費・人件費の増
不 動 産 業	営業収益	44,000	45,598	△ 1,598	・不動産販売業△21億円 マンション販売の減少
	営業利益	10,900	12,577	△ 1,677	・不動産賃貸業△10億円 修繕費の増加
流 通 業	営業収益	23,600	21,965	1,634	・SC経営+12億円 前期休館による反動増
	営業利益	1,200	1,144	55	・SC経営△0億円 前期:休館による特別損失振替(減価償却費・諸税) 広告宣伝費の増加

3. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2022年度 予想	2021年度 実績	増減額	主な増減要因
レジャー・ サービス業	営業収益	41,700	38,241	3,458	・旅行業+12億円 国内旅行取扱高の増加
	営業利益	2,400	3,834	△ 1,434	・ビル管理メンテナンス業△4億円 ・新規事業関連費用の増
建設業	営業収益	47,800	38,121	9,678	
	営業利益	2,100	1,959	140	
その他の業 事	営業収益	2,600	2,653	△ 53	
	営業利益	100	176	△ 76	
調整額	営業収益	△ 28,400	△ 28,159		
	営業利益	△ 100	△ 120		
合計	営業収益	227,100	201,793	25,306	
	営業利益	16,300	12,190	4,109	

3. セグメント別投資額・EBITDA

(単位:百万円)

	投資額				EBITDA ^{※1}		
	2022年度 予想	2021年度 実績	増減額	予想額 主な内訳	2022年度 予想	2021年度 実績	増減額
運 輸 業	21,100	11,811	9,288	<収益拡大投資 178億円> ・物流施設高度化 80億円 大阪府食品流通センター E棟建設関連工事他 ・なんばエリア周辺開発 77億円 <安全・更新投資 264億円> ・鉄道関連工事 137億円 車両新造、高架橋補強等 ・不動産および 流通施設工事 65億円 <未来探索投資 46億円> ・新規事業 9億円 eスポーツ事業他	15,600	8,482	7,117
不 動 産 業	21,800	6,553	15,246		18,800	20,471	△ 1,671
流 通 業	3,300	1,430	1,869		5,200	5,440	△ 240
レジャー・ サービス業	2,500	1,557	942		3,800	5,130	△ 1,330
建 設 業	100	47	52		2,200	2,096	103
その他の事業	0	6	△ 6		100	189	△ 89
調 整 額	△ 1,100	—	—		※2 △ 300	※2 △ 242	—
合 計	47,700	21,408	26,291	45,400	41,568	3,831	

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

3. 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

全線		2022年度予想	対前年 増減率	2021年度実績	対前年 増減率	2020年度実績	対前年 増減率
旅客収入	定期外	27,463	33.7%	20,538	10.8%	18,544	△ 47.1%
	定期	20,103	8.7%	18,495	△ 0.3%	18,548	△ 17.8%
	合計	47,566	21.9%	39,033	5.2%	37,092	△ 35.6%
輸送人員	定期外	84,391	27.9%	65,964	8.7%	60,670	△ 37.9%
	定期	126,855	8.5%	116,887	△ 0.5%	117,494	△ 17.1%
	合計	211,246	15.5%	182,851	2.6%	178,164	△ 25.6%

(単位:百万円・千人)

空港線		2022年度予想	対前年 増減率	2021年度実績	対前年 増減率	2020年度実績	対前年 増減率
旅客収入	定期外	3,880	76.1%	2,203	30.7%	1,686	△ 80.3%
	定期	1,162	49.0%	780	△ 6.9%	838	△ 45.8%
	合計	5,043	69.0%	2,984	18.2%	2,524	△ 75.0%
輸送人員	定期外	5,516	72.7%	3,194	24.1%	2,574	△ 75.9%
	定期	3,909	48.6%	2,631	2.4%	2,570	△ 47.5%
	合計	9,425	61.8%	5,825	13.2%	5,144	△ 67.0%

‘なんかいいね’があふれてる